

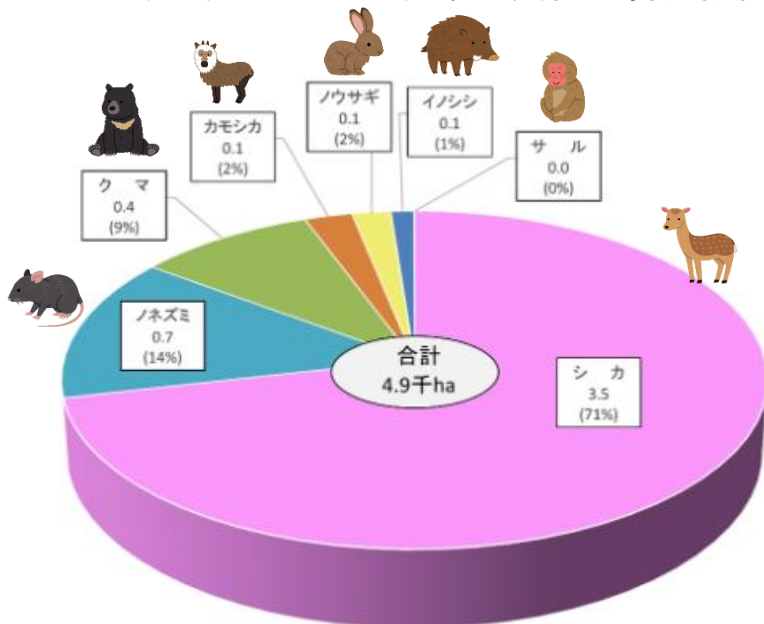
中部森林管理局における獣害対策の取り組み

【令和5年度版】

林野庁 中部森林管理局

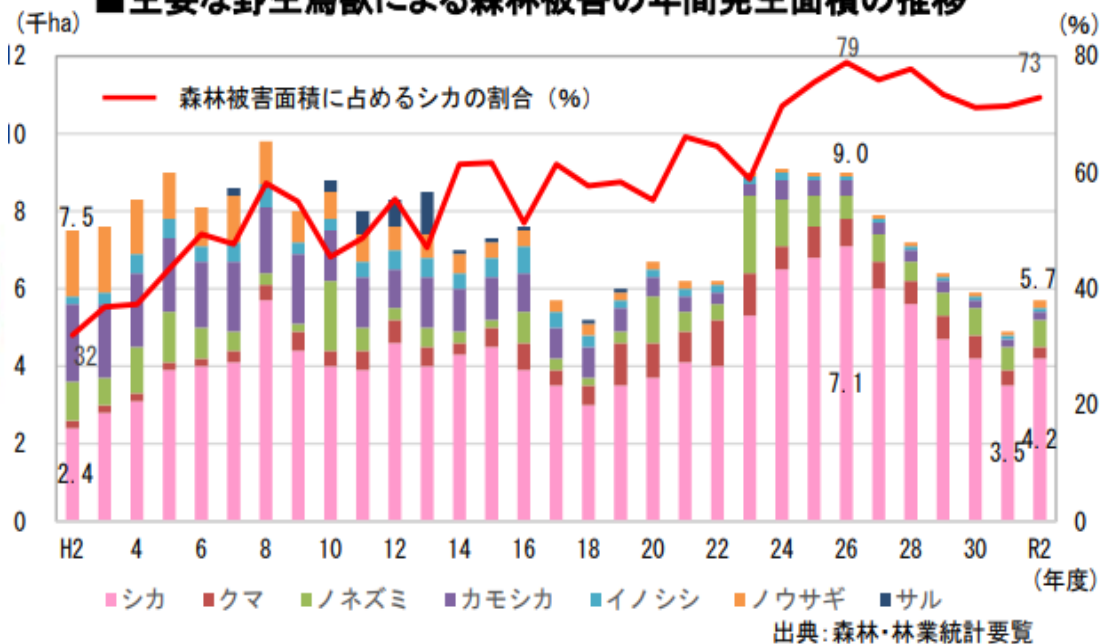
I 日本の森林における鳥獣被害

- 日本の森林における鳥獣被害面積は、年間約4.9千haとなっています。（R3年度／林野庁調べ）
- このうち、シカによる枝葉の食害や剥皮被害が全体の約7割を占めていて、深刻な被害となっています。



<農林水産省 HPより>

■主要な野生鳥獣による森林被害の年間発生面積の推移



カラマツ人工林



剥皮の状況

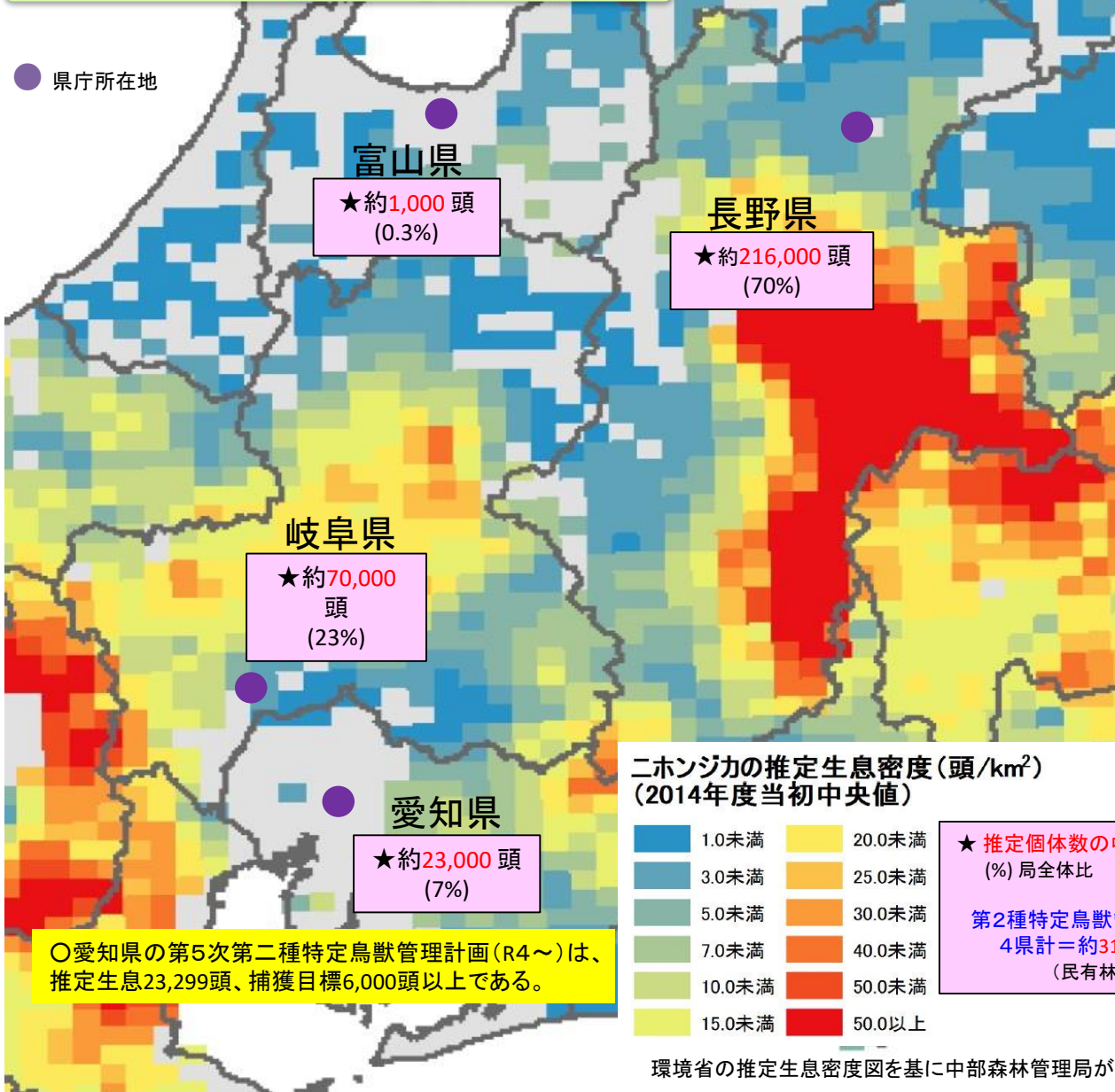


美ヶ原高原



II 中部局管内(4県)のニホンジカ生息状況

ニホンジカの推定生息数と密度



環境省の推定生息密度図を基に中部森林管理局が作成

樹木の被害



人工林ヒノキの皮剥被害(南信署)



亜高山帯の剥離被害(八ヶ岳)

高山植物の被害



III 中部森林管理局の取組

中部森林管理局では、ニホンジカの被害の低減に向けて、地方自治体、猟友会、野生鳥獣対策協議会、学識経験者等と連携しながら、また国有林野事業を実施する事業体にも協力を呼びかけ、国有林内での捕獲を積極的に推進します。

1. ニホンジカの生息状況調査

自動撮影カメラによる生息状況調査やライトセンサ調査等で得られた情報を地域で共有し、効率的な捕獲を推進します。



2. 防護柵等の設置

人工林や山腹の治山施設を保護するため、関係機関や地域ボランティア等と連携し、希少植物を保護するための防護柵を設置します。

3. 新たな捕獲技術の実証・普及

捕獲事業で特に危険が伴うツキノワグマの錯誤捕獲を回避するワナの普及、ブロックディフェンスとくくりワナを組み合わせた捕獲に取り組めます。

4. くくりワナ見回りの効率化

捕獲事業において最も時間を要するワナの見回り労力の軽減を図るため、捕獲状況通報機器の活用を推進します。

5. 地域や猟友会及び事業体等との連携捕獲

自治体、猟友会との協定、関係協議会・市町村等へのくくりワナの貸出による捕獲支援、捕獲委託を行っています。

国有林の請負事業体、猟友会等にご協力を賜り、通勤時の「ついで捕獲」「ついで見回り・通報」に取り組めます。

6. その他

鳥獣の保護や狩猟に関する制度及び獣害対策に関して、職員の意識と知識を向上させるため、講習会や検討会を実施します。

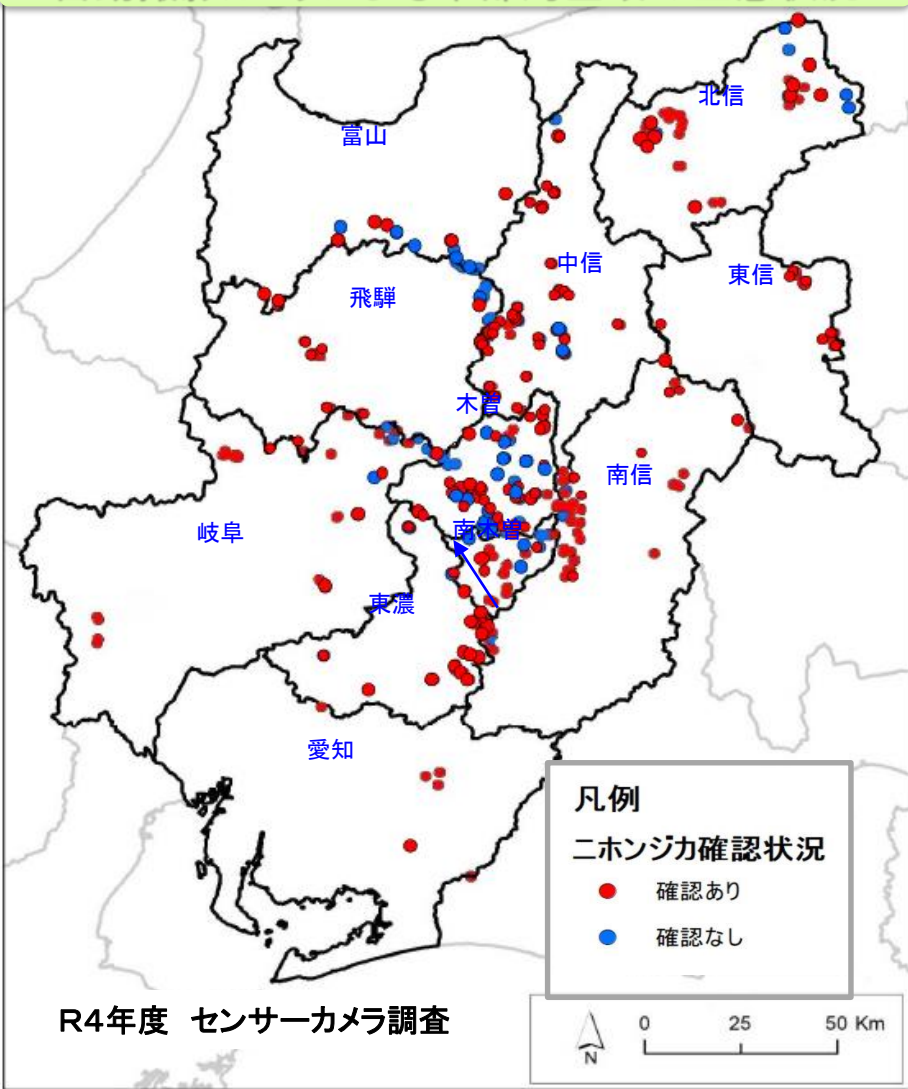


鳥獣保護・狩猟等に関する講座、講習
(愛知森林管理事務所) (木曾森林管理署南木曾支署)

1. ニホンジカの生息状況調査

ニホンジカの生息範囲を把握するため、山地帯から高山帯の広範囲に設置した自動撮影カメラ(令和4年:299台)や夜間調査(ライトセンサス)により生息状況を調査しています。調査で得られた情報は、地元市町村や猟友会等に提供するなど地域と一体となったニホンジカ対策に取り組んでいます。

自動撮影カメラによる中部局全域の生息状況



① (北信署 朝日山国有林)



② (東信署 荒船山国有林)



③ (南信署 東俣国有林)



④ (南木曾支署 南木曾国有林)



⑤ (飛騨署 牛牧国有林)



⑥ (岐阜署 七宗国有林)

2. 防護柵の設置

防護柵の実績

ニホンジカによる食害から造林地の植栽木を守るため、また山腹工等の治山施設の保護を目的として、ニホンジカの侵入を防ぐ防護柵の設置を行っています。

新設防護柵の延長

	H20 ~21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計
延長 (km)	12	8	5	1	11	24	27	21	26	24	33	43	30	22	265



低コスト化を図るため
立木を利用した防護柵
(東濃署)

高山植生の変化(八ヶ岳 麦草園地)



ボランティアによる高山帯での
防護柵設置作業(南信署)

八ヶ岳の麦草峠園地は、平成21年より地元の協議会、ボランティア、南信森林管理署が連携して防護柵を設置してきており、現在は元の姿に戻りつつあります。



食害前(～平成10年)
様々な高山植物が色鮮やかに
開花している。



食害発生(平成20年頃)
シカの食害により高山植物
が衰退し、全体が草地となる。



柵設置後(平成30年～)
防護柵により、高山植物が
徐々に回復している。

3. 新たな捕獲技術の実証

◆**錯誤捕獲対策**:くくりワナには、捕獲目的でない他の動物が捕獲(錯誤捕獲)されることがあります。特に、ツキノワグマの錯誤捕獲は危険な放獣作業が必要なため、シカ対策において大きな課題です。このため、クマの錯誤捕獲を回避できるワナの効果や捕獲効率の検証に取り組んでいます。

◆**ブロックディフェンスとくくりワナを組み合わせた捕獲**:既存の作業路をシカが利用していたことから、遮断しないように、ブロック状に防護柵を設置し、防護柵間の作業路にくくりワナを設置し、そこを通り道として利用するシカの捕獲を引き続き試みます。

くくりワナの錯誤捕獲防止対策

脚の細いシカは踏み抜けるが、クマの平足では踏み抜きにくい形状のプレートと踏み込み式のくくりワナを組み合わせたワナにより、クマ錯誤捕獲を回避した捕獲に取り組んでいます。

中信森林管理署
(金松寺山国有林)



クマ踏み抜きを防止するプレートと踏み込み式ワナ

ブロックディフェンスとくくりワナ捕獲

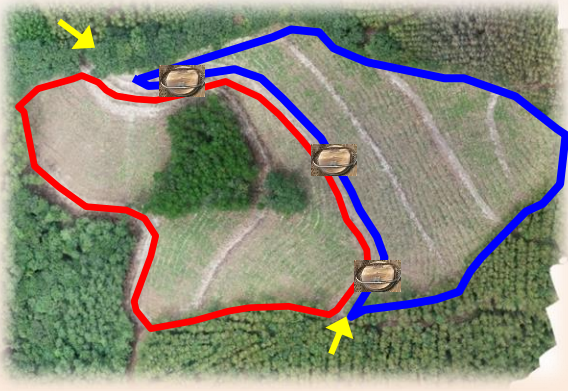
シカの通り道が限定されることで、効果的な捕獲が期待されます。令和5年度は、餌による比較、給餌誘引方法と立木の無い条件下でのくくりワナの取り付け方法等を検証します。



令和4年度の捕獲の様子



シカの移動の様子



南信森林管理署
(東俣国有林)

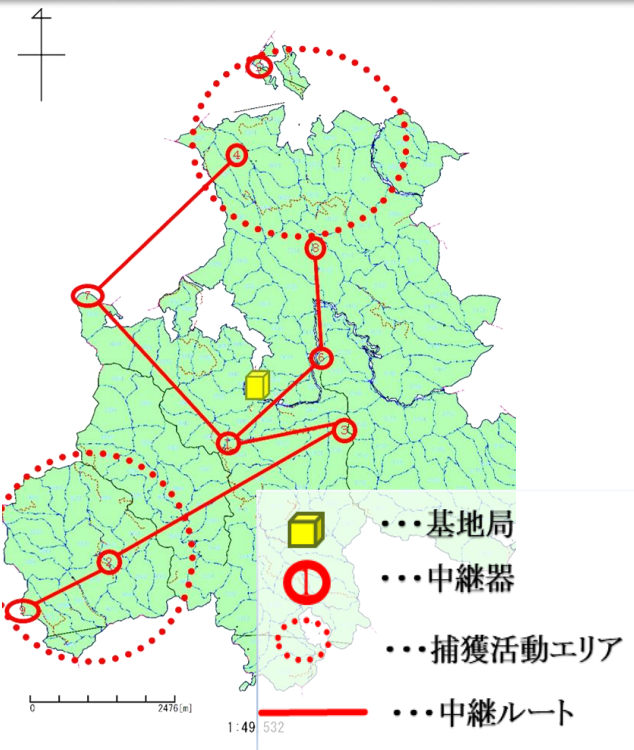
凡例	
	道上柵
	道下柵

造林地全体のブロックディフェンスの配置

4. くくりワナ見回りの効率化(ワナ捕獲通報システムの導入)

奥地山間部でのニホンジカ捕獲では、ワナの見回りが大きな負担となっていることから、携帯電話の圏外地域でも使用できるワナ捕獲通報システムにより、見回り労力の負担軽減に取り組んでいます。

遠距離通報システムの構築(愛知森林管理事務所)



段戸国有林における捕獲エリアと、基地局及び中継器の設置状況

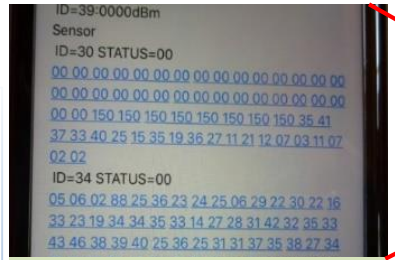


電波調査器による電波状況の確認



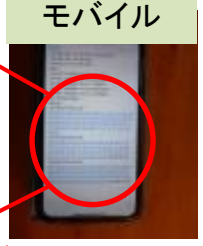
中継器の設置

ICTセンサーの伝達フロー



センサーが記録した数値

異常な数値(捕獲の可能性)を感知し、モバイルに通知



基地局から各従事者のモバイル端末に定期的にデータが送信される



データ転送

ID	Sensor	Status
12:00	Normal	Open
13:00	Normal	Open
14:00	Catch	Open
15:00	Catch	Open



4. くくりワナ見回りの効率化(ワナ捕獲通報システムの導入)



導入した通報システム一覧

取組署等	通信方法	センサー	導入年度	設置数(小機)	役場～現地の距離		使用の結果等(※2)
					直線距離	道路距離	
東信署ほか	携帯回線	マグネット着脱型	H27	43	約13.0km	約16.4km	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯モジュール無線通信距離(子機～親機)は、地形により短くなる。 ・設置が容易で頻繁な移動も可能である。 ・見回りを週1回程度に減らせた。
南信署	LP-WAVE(※1)	マグネット着脱型	H30	8	約10.1km	約12.5km	<ul style="list-style-type: none"> ・見回り回数は設置前の3割程度となり、大幅に軽減された。 ・親機(アンテナ)、中継器の取付位置が高所のため、設置後の移動等は困難となる。
東信署	LPWA	赤外線感应型	H30	50	約6.0km	約8.1km	<ul style="list-style-type: none"> ・中継器を利用することで広範囲での実行が可能。 ・センサーは、感知した動物等の動きを数値情報に変換して通知するので、強風等による誤感知がある。 ・設置方法や受信データ分析に習熟する必要がある。
愛知所		赤外線感应型	R1	30	約9.0km	約18.8km	
南木曾支署(大桑村)		マグネット着脱型	R2	5	約3.5km	約5.9km	

※1 制作元の独自の通信技術

※2 使用者の所感等であり、設置場所等環境により状況は異なります。また、各製品の性能を示すものではありません。

5. 地域や猟友会及び林業事業体等との連携による捕獲

捕獲に関する覚書・協定

- ◆「長野県、長野県猟友会、中部森林管理局の三者による覚書」(平成29年11月締結)
各地域の国有林内での捕獲に関する協定締結の推進、関係者の合意形成、情報共有等により捕獲を推進
- ◆「国有林野内におけるニホンジカ等の捕獲に関する協定書」
国有林野内への車両の乗り入れにより、ニホンジカ捕獲を推進
 - 北信森林管理署 木島平村
(相手方)木島平村猟友会 (立会人)木島平村有害鳥獣駆除対策協議会
 - 北信森林管理署 信濃町
(相手方)信濃町猟友会 (立会人)信濃町有害鳥獣駆除連絡協議会
 - 東信森林管理署 佐久地域
(相手方)北佐久連合猟友会、南佐久連合猟友会 (立会人)佐久地区野生鳥獣保護管理対策協議会
 - 南信森林管理署 下諏訪町
(相手方)下諏訪町猟友会 (立会人)下諏訪町野生鳥獣対策協議会、下諏訪町
 - 南信森林管理署 伊那市
(相手方)上伊那猟友会 (立会人)伊那市
 - 木曾森林管理署及び南木曾支署 木曾地域
(相手方)木曾猟友会 (立会人)長野県木曾地域振興局(木曾地区野生鳥獣保護管理対策協議会)
 - 愛知森林管理事務所 設楽町
(相手方)設楽町猟友会 (立会人)新城・北設広域鳥獣害対策協議会

ついて捕獲・ついて見回り通報

国有林で造林・生産・治山・林道・調査等の事業を行う請負事業者と地元猟友会等のご協力により、事業地周辺や通勤経路で、くくりワナによるニホンジカの捕獲や、猟友会等が設置したワナの見回り、捕獲の通報を行う「ついて捕獲」、「ついて見回り・通報」に取り組んでいます。

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
協力事業者件数	(件)	13	5	7	4	3
捕獲頭数	(頭)	170	316	67	86	55

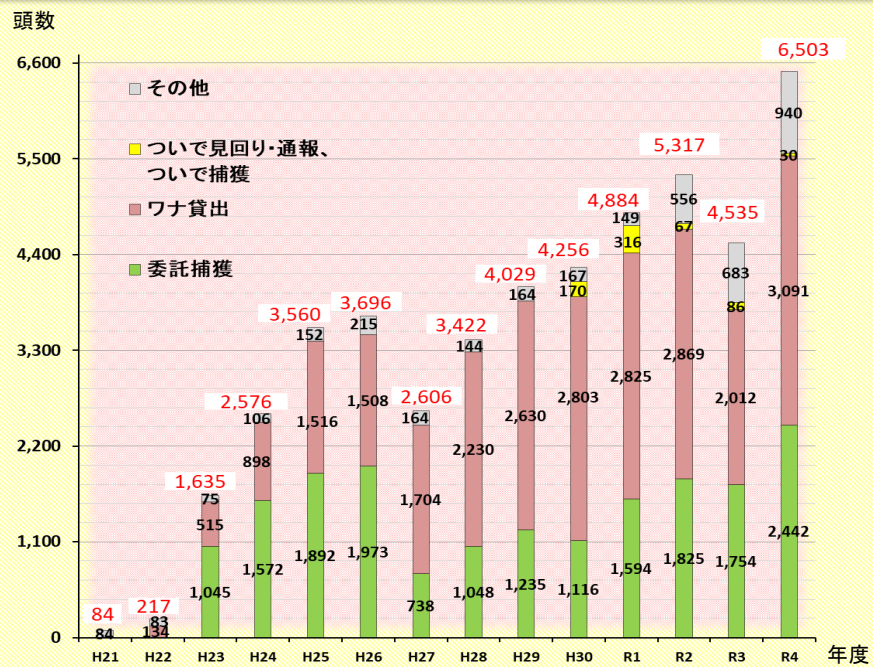


イメージ図

Ⅲ 管内における捕獲の状況

シカの捕獲は平成19年に開始し、平成22年からくくりワナの貸出、平成23年から猟友会への捕獲委託、平成30年からは「ついで捕獲」「ついで見回り・通報」等を行っています。

シカ捕獲頭数(平成21年度～令和4年度)



令和4年度 委託契約・ワナ貸出実績

署等名	委託契約先及びくくりワナ貸出先	団体数
富山	魚津市、立山町、南砺市、入善町	4
北信	JA長野第一有害鳥獣対策協議会、長野市戸隠支所・鬼無里支所、信濃町猟友会、木島平村猟友会	4
中信	大北地区・安曇野市・松塩筑猟友会、大町市、美ヶ原牧場畜産農業協同組合	5
東信	北佐久連合区・東御市・真田町猟友会、上小広域捕獲推進協議会、南佐久地区猟友会	5
南信	富士見町・茅野市・原村・伊那市・飯田市連合・大鹿村・下諏訪猟友会、霧ヶ峰草原再生協議会、伊那市、飯田市、富士見町、松川町、阿智村、茅野市捕獲隊、硫黄岳山荘、伊那・高遠町・長谷猟友会、上伊那猟友会	19
木曾	木祖村・木曾町福島支部・日義支部猟友会、木曾猟友会	4
南木曾	南木曾町、大桑村	2
飛騨	高山市、飛騨市、白川村	3
岐阜	七宗町鳥獣被害防止対策協議会、岐阜市金華山一帯のイノシシ被害対策協議会、郡上市猟友会	3
東濃	中津川市神坂猟友会、恵那市猟友会、中津川市猟友会中津支部	3
愛知	設楽町猟友会	1
計		53

(注)：―は、捕獲委託(協力金を含む)。それ以外はワナの貸出

令和4年度 捕獲方法別の割合

